

避難確保計画に基づく訓練事例紹介

No.1

施設区分	高齢者福祉施設	訓練時間	17:50~18:20
訓練種別	情報収集・伝達訓練	人数	62名（従業員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網を用いた情報伝達訓練を実施。 ・実際の状況を想定し、予告なしで訓練。 ・大雨、洪水警報が発表されたという想定で、可能な人は施設に集合し利用者の安全確保を行うという連絡内容。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が何人かに連絡しなければならないこともあるため、伝達に時間の開きがある。 ・電話に出られない場合があるため、全員に伝わらないことが予想される。そのため、メールやアプリ等による情報伝達も検討が必要。 		

No.2

施設区分	高齢者福祉施設	訓練時間	15:00~16:10
訓練種別	図上訓練、情報収集手段の確認	人数	30名（従業員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長不在時の情報収集・伝達、避難準備等に関する訓練。 ・複数班に分かれ、避難確保計画と照らし合わせながら、施設図面や防災マップを用いて、各班において施設での避難行動を確認した。 ・そこで出た課題を全体で共有し、施設内での対応にばらつきがないようにした。 また、最後に訓練を振り返り、計画の見直しや訓練に活かしていく。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤・夜勤リーダーが有事の対応について心構えをしておくこと。 ・避難時に誰がどこに避難するのかがわかるように、首から下げるプレート等を事前作成する。 ・情報収集手段は、必要な情報がすぐに入手できるよう整理する。 		

No.3

施設区分	高齢者福祉施設	訓練時間	9:30~11:30
訓練種別	避難経路の確認訓練、垂直避難訓練、情報収集・伝達訓練防災体制の確認	人数	21名（従業員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの確認 ・気象情報の収集と体制判断の確認訓練 ・垂直避難訓練は車いすに代役従業員が乗車し、利用者の感覚を体験しながら行う。 ・利用者1名を避難させる際にかかる時間を計測する。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやSNSを活用し情報収集することは可能だったが、必要な情報にたどり着くまでに時間を要した。日頃から情報収集をして、収集先を整理しておく必要がある。 ・垂直避難の際、車いすでの避難を想定して実施し、前方に2名広報に2名必要であることが分かった。 		

避難確保計画に基づく訓練事例紹介

No.4

施設区分	障害者福祉施設	訓練時間	13:30～15:00
訓練種別	避難経路の確認訓練	人数	15名（従業員、利用者）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所となる小学校まで、自動車では避難経路を確認した。 ・利用者をリフト付き自動車に乗せ、昇降動作の確認も併せて行った。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画ではわからない道路事情があり、注意点や避難に要する時間、経路の安全性等を確認できた。 ・車いすの乗降作業は、不慣れな点が見られ、定期的な訓練が必要であると感じた。また、日ごろから器具等の整備や点検をする必要がある。 ・避難所での従業員の対応や、施設で待機する従業員の動きを確認することも課題であるため、水害時の想定より細部にまで視野を持って取り組めるよう検討する。 		

No.5

施設区分	障害者福祉施設	訓練時間	17:30～17:50
訓練種別	情報収集・伝達訓練、垂直避難訓練、防災体制の確認	人数	6名（従業員、利用者）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員から管理権限者への情報伝達訓練。 ・情報伝達後、垂直避難訓練。 ・発災時の初動、体制確認、避難判断の訓練を実施し、各自役割や指示の確認を行った。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員全員が同時に訓練できなかったため、管理権限者から全員に訓練の様子や結果を共有する。 ・今後はできるだけ全員での訓練を実施することを検討する。 		

No.6

施設区分	障害者福祉施設	訓練時間	10:00～10:30
訓練種別	情報収集・伝達訓練、避難経路の確認訓練、防災体制の確認	人数	28名（従業員、利用者、市職員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員による発災時の初動や体制の確認、坂戸市役所との情報のやりとりを確認。 ・避難確保計画に定めている避難先に移動し、経路確認をした。 ・持ち出し品を自動車に積み込み、搬出確認を行った。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難策への移動の際、自動車では2往復したが、災害時は施設に待機している時間がないことも想定されるため、自動車での避難と徒歩での避難とでグループ分けをするとスムーズな避難誘導につながる。 		

No.7

施設区分	学校	訓練時間	10:00～10:30
訓練種別	竜巻接近時における避難体制の確認	人数	209名（教職員、児童）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・竜巻が発生した場合の避難方法と避難体制の指導。 ・教室、外等にいるとき竜巻が発生した場合、校舎内に避難し、カーテン・窓を閉める。また、窓から離れ、ランドセルの背を窓側に向け、自分の身を守る。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・教室以外の場所でのどのように行動するのかを訓練する必要がある。 		

避難確保計画に基づく訓練事例紹介

No.8

施設区分	学校	訓練時間	11:50~12:20
訓練種別	図上訓練、情報収集・伝達訓練、避難経路の確認訓練	人数	8名（教職員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 各学年主任へ避難確保計画の配布、内容・避難経路及び避難場所の確認を実施。 学年主任から各学年職員に周知を図る。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍による密を避けるため、集団での訓練はできていない。 今回は図上訓練を実施したが、今後どのような訓練を行うか検討が必要である。 		

No.9

施設区分	学校	訓練時間	9:00~9:50
訓練種別	情報収集・伝達訓練、防災体制の確認、水害への備え（講話）	人数	1139名（従業員、生徒、消防職員）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生時の訓練ではあるが、防災体制の確認や情報伝達等の動きは水害時にも応用できる。 消防職員から、近年多発している水害に対する備えについて、生徒・職員に講話をしていただいた。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達に想定より時間を要した。 連絡責任者を再確認し、情報伝達が速やかに行えるよう改善する。 		

No.10

施設区分	児童福祉施設	訓練時間	16:00~16:30
訓練種別	垂直避難訓練、情報伝達訓練、持ち出し品の確認・移動訓練	人数	14名（従業員、利用者、保護者）
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者がある中で、放送による職員や利用者への情報伝達訓練後、垂直避難訓練を実施した。 市から避難情報が発表されたという想定で実施し、各職員の役割、指示、対応を確認した。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 実際はどのように避難情報が発表されるのかを確認する必要がある。 気象、洪水、河川水位の危険情報を収集した時点で、利用者に情報を伝達し、帰宅させるか安全な場所に移動を促す。 		

No.11

施設区分	児童福祉施設	訓練時間	12:30~13:00
訓練種別	図上訓練、情報収集・伝達訓練	人数	10名ほか保護者
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> 水害時に迅速な連絡ができるかどうか確認するため、メールの送受信を実施し、全保護者に伝達できたかを確認。 従業員には安全検討チームの担当から個別で、対応マニュアルの再研修を実施し、対応や役割について確認した。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者メールアドレスは複数人登録してもらうよう促しているが、まだ1人のみの家庭もある。 緊急時にスムーズな対応ができるよう、返信してもらった内容をスマホからアクセスできるようにする。 		

避難確保計画に基づく訓練事例紹介

No.12

施設区分	児童福祉施設	訓練時間	10:00~10:15
訓練種別	情報収集・伝達訓練、避難経路の確認訓練、垂直避難訓練	人数	69名（従業員、園児）
訓練内容	・園内放送にて、職員への情報伝達訓練を実施。 ・1階にいる園児を2階へ避難誘導、人数確認及び安否確認を実施。		
課題等	・実際に災害が発生したとき、どのタイミングで園児の避難誘導を行えばいいのか、職員同士で話し合い共通理解をしておく。		

No.13

施設区分	児童福祉施設	訓練時間	16:30~17:00
訓練種別	図上訓練、避難経路の確認訓練、持ち出し品の確認訓練、水害への事前準備確認	人数	11名（従業員）
訓練内容	・坂戸市防災マップを以て「風水害について」と「水害ハザードマップ」確認を行い、避難判断までの訓練を実施した。		
課題等	・雨水ます、水のう等を知らない職員もいたため、この機会にあらためて確認する。 ・施設の状況として、避難出口への浸水が早いことが予想されるため、早めの避難が重要であることを周知する。		